

## 地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項
大阪城公 園周辺地 域	<p><b>〔都市再生緊急整備地域〕</b></p> <p>充実した交通インフラ、豊かな自然環境等の立地条件を活かし、環境への配慮や防災性の向上を図りながら、既に集積している高次都市機能のリノベーション（機能更新）を進め、魅力ある複合的な国際拠点を形成また、大阪のシンボルであり、本市の経済成長戦略上、観光戦略上重要な拠点でもある大阪城公園の魅力の向上の取り組みと併せ、にぎわい創出を図り、大阪城公園の玄関口としても魅力ある複合的な国際拠点を形成</p> <p>大阪都心部最大級のみどりがあり、国際観光拠点である大阪城公園に隣接した交通ターミナルとして、観光客など来訪者の誘致や滞在を促進する複合的な都市機能の集積を図り、関西広域の観光資源を繋ぐハブ拠点を形成</p>	<p><b>(大阪ビジネスパーク駅周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大阪城公園の活性化に向けた取り組みと連携し、地区の環境への配慮や防災性の向上を図りながら、国際的な業務・商業機能の充実・強化</li> <li>○併せて、来訪者などにとってにぎわいと魅力が感じられる空間の形成を図り、上記と一緒に複合的な国際拠点機能を形成</li> </ul> <p><b>(天満橋駅周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○業務・商業機能の集積を活かしながら、大阪城公園の玄関口にふさわしい観光拠点機能を強化</li> <li>○併せて、耐震性の向上など防災性の向上や、環境への配慮を図りながら、土地の高度利用を促進し、業務・商業機能や学術機能等を充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ターミナル駅である京橋駅と大阪城公園との緊密な連携を確保するため、建物低層部、公開空地、道路等を活用した、連続性のあるにぎわい豊かな歩行者空間を整備</li> <li>○河川に囲まれた地区として水辺空間の親水性を向上させるためのにぎわい空間の整備</li> <li>○ターミナル駅である天満橋駅と大阪城公園の間の回遊性・利便性を高め、地区のにぎわいを創出するため、バスターミナル改修等にあわせて、円滑な移動のための通路、広場等の歩行者空間の整備</li> <li>○親水性を向上し歩行者ネットワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際水準のオフィス環境を整備するとともに、最新の低炭素技術の導入や、太陽光や河川水、風力といった新エネルギーを活用した地域エネルギー・システムの導入など、環境に配慮したまちづくりを促進</li> <li>○地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</li> <li>○水辺空間、公開空地等の再整備や歴史・景観資源の活用による地域全体の回遊性・利便性の向上、及び観光拠点機能の充実</li> <li>○官民連携の防災体制づくりなど、地域の事業継続性の確保のための取り組みの推進による災害に強いまちづくりの促進</li> </ul>

<p>加えて、大阪城公園に隣接した交通至便な立地特性を生かし、低未利用地等の土地利用転換や既存施設の機能更新にあわせて、土地の高度利用を図ることにより、新大学を先導役にした、多世代・多様な人が集い、交流する国際色ある拠点を形成</p>	<p><b>(大阪京橋駅周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地下鉄・京阪・JRの3駅で一日に約50万人が行き交うターミナル駅にふさわしい基幹商業機能のさらなる強化</li> <li>○国際観光拠点としての商業機能の強化と共に、大阪城・OBPと連携した観光サポート機能の強化を図り、高質な宿泊機能の導入等による駅前のポテンシャルを向上</li> </ul> <p><b>(森之宮周辺)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都心キャンパス機能の整備とともに大学が先導役となり展開する都市シンクタンク機能、技術インキュベーション機能等を中心に、国際色ある業務・商業・宿泊・居住等の多様な機能の集積・連携を図り、次世代型キャンパスシティの中核機能となるイノベーション・コアを形成</li> <li>○イノベーション・コアと連坦し、複</li> </ul>	<p>ークを形成するための大川の河川沿いの歩行者空間を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ターミナル駅としてふさわしい駅利用者の利便性向上に資する交通結節拠点としての機能整備</li> <li>○駅間や大阪ビジネスパークとの安全で快適な歩行者ネットワークを形成するため立体的な歩行者空間を整備</li> <li>○観光客のアクセス性の改善や公共空間のにぎわい創出等を通じた国際観光拠点としてのターミナル駅の機能拡充</li> </ul> <p>○地区の利便性、回遊性等の向上を図るため、JR大阪城公園駅、JR・地下鉄森ノ宮駅と地区内とを円滑に繋ぎ、大阪城公園内の歩行者動線とも連続性のある歩行者ネットワークを整備</p> <p>○歩行者の安全性の向上や防災性の向上等を図るため、都市開発事業と併せた歩行者空間を拡充</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の事業継続性確保のための取り組み推進、大阪城公園や大阪ビジネスパーク地区との連携による災害に強いまちづくりの促進</li> <li>○大規模災害発生時におけるターミナル駅周辺の滞留者等の安全確保に資する待避施設等の整備を推進</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第二寝屋川沿いの水辺空間の活用や、鉄道施設・下水処理場等の上部利用等による立体的な土地の高度利用により、河川との親水性や大阪城公園との一体性を確保</li> <li>○健康医療・環境等の既存資源を活かした、地区内をスマートシティの実証・実装フィールドと</li> </ul>
---	---	--	---

	<p>数立地する健康医療機能等と連携し、スマートエイジングシティの取り組みを展開しながら、多様な世代が健康で安全に住み続けられる、にぎわいにも寄与する商業・業務機能等も含めた居住環境を実現</p>		した取り組みを推進
--	--	--	-----------